

課題

いちご狩りは、子供からお年寄りまで幅広い年代で楽しまっているアクティビティです。

いちご狩りの方法は、一方の手に持ったハサミでイチゴの茎を切り、収穫したイチゴをもう片方の手で持つお椀型の容器に入れていちごを収穫します。

しかしながら、容器にイチゴを入れることができず、**イチゴを落したり、**
また、ハサミの刃は常時露出しているので、**誤って手を切ってしまう**という課題が生じていました。

このような課題は、特に子供やお年寄りに多く生じていました。



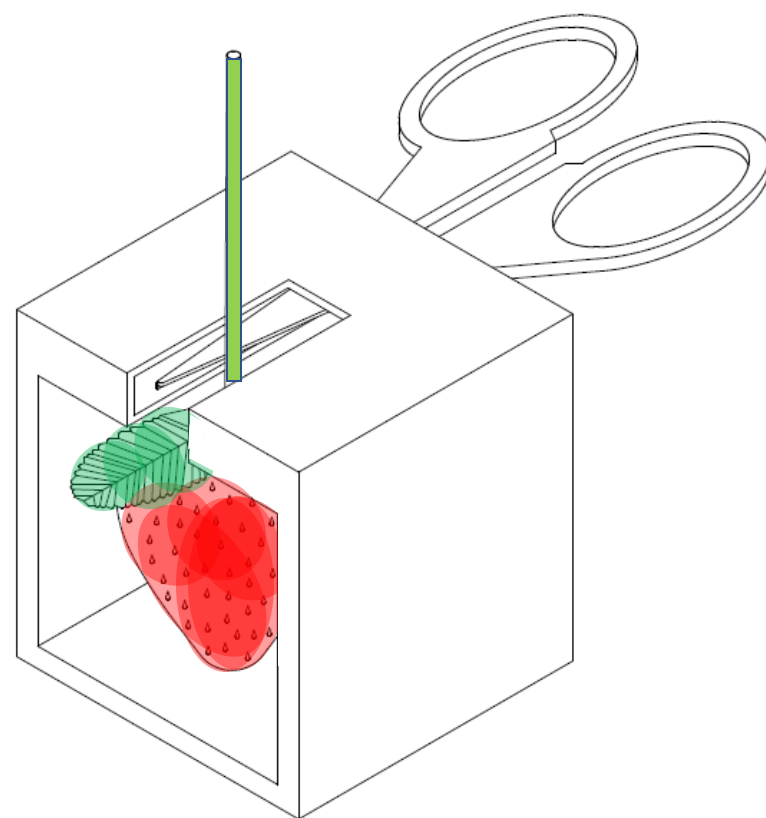
課題の解決手段

- ① ハサミと容器を一体化して、容器の上部にハサミを配置

これにより、切る動作と容器に収穫する動作を一度に行うことができ、容器からイチゴを落とすことを防止できます。

- ② ハサミの刃を容器内に收容可能に構成

これにより、切断時以外は刃を容器内部に收容できるので、誤って手を切ってしまう等のリスクを防止することができます。

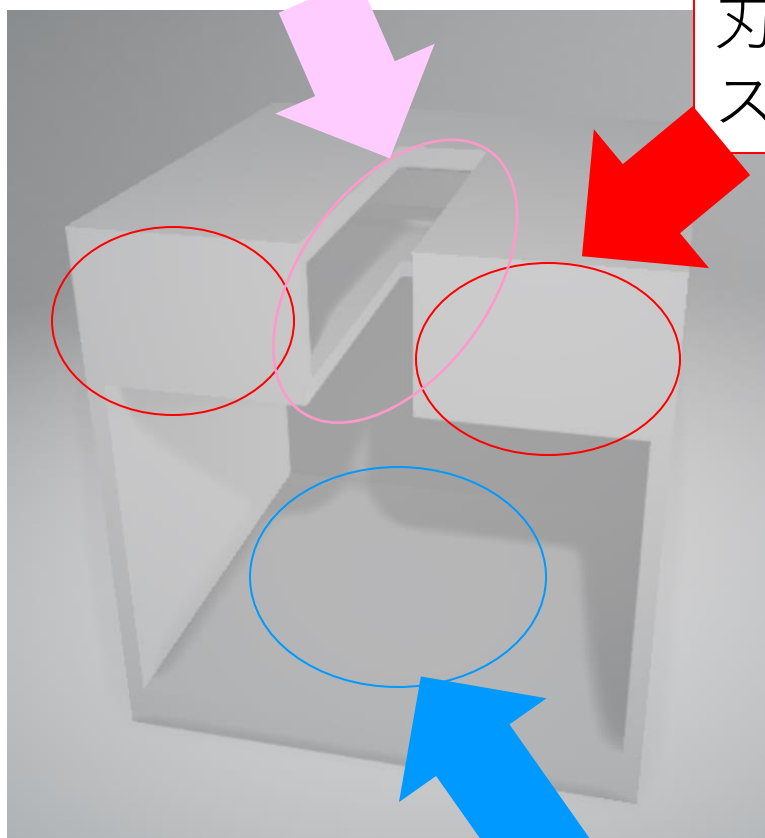


作品の紹介

切断時に刃物が
露出する部分

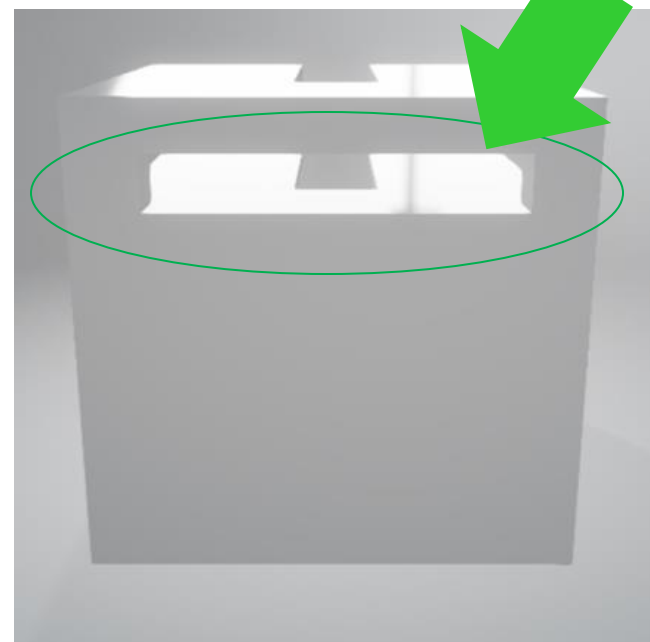
刃物の露出を防止するための
ストッパー

刃物の挿入
する孔部



表面

いちごを収穫するスペース



裏面

作品名 いちご収穫機